

田原市立田原福祉専門学校同窓会機関誌

たつぷく だより

No. 22

編集発行 平成31年3月1日

田原福祉専門学校同窓会
会長 松原 宣子



「たつぷく」とともに



教務主任
(第一期生)
石田 房枝

「笑う門には福来る」は、何年か前の卒業生に励ましの言葉として贈ったことわざです。いつもにこやかに笑っている人のところには自然に幸福が来るという意味です。

私は、平成八年に一期生として社会人入学をしました。年齢差のあるクラスメイトと学びの多い二年間でした。行事等は教職員と学生と試行錯誤のなか進め、学校生活を楽しまました。風が吹き、子供の教育から介護へと携わった私が、平成十五年の春に本校の教員として戻ることになりました。笑顔が素敵な、優しい学生たちに囲まれ、無我夢中の日々でした。

振り返ると、学生たちの顔や出来事が懐かしく思い出されます。教員生活の中で、「笑顔」「人は変えられないから、自分が変わろう」と話していたように思います。自分が変われば周りも変わると…。また、辛いときほど、誰か一人でも傍にいて話を聴いてくれる人がいるなら踏ん張り時、と言ったこ

とも。希望に満ち溢れている学生ばかりではなく、授業や実習が大変と話してくれた学生、就職先が辛いと悩んで来訪する卒業生など大勢の皆さんと関わってきました。担任の時には皆と蔵王山に登り、調理実習室でカレーやお好み焼きを作って食べ、講堂で運動をしましたね。

先日、卒業生が訪ねてくれ、「十年前の先生方は厳しかったよね」「その時は分らなかったことが今は分るよ」と懐かしい話で盛り上がりました。時代が変化し厳しさも変化しているように思いますが、担任は何時の時代も嬉しさと楽しさ、大変さが醍醐味です。

学生時代、教員時代と多くの方々にお世話になり、地域の皆様にも助けていただきました。困っていると誰かが助けてくださる、感謝の日々でした。ありがとうございます。

今年の「たつぷく祭」にも大勢の卒業生が協力してくれました。今年は二十一名が卒業を迎えます。卒業生が自身のできることで、学校を支えることができたなら、どんなに幸せかと思えます。

最後になりますが、学校に関わる全ての皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

同窓会行事レポート

● 総会にて ●

平成三十年度田原市立田原福祉専門
同窓会総会を平成三十年五月
十三日(日)午前十時から、本校講
堂で開催しました。

総会では、提案された同窓会規約
の改正、平成二十九年度事業報告及
び決算、役員を選任、平成三十年
度事業計画及び予算などのすべてが承
認されました。

また、総会終了後は、ラウンジで
お菓子を囲み、仕事や学生時代の話
に花を咲かせました。社会に出たば
かりの卒業生も先輩からの貴重なア
ドバイスに耳を傾けていました。



● たつぷく祭にて ●

毎年、学園祭「たつぷく祭」では、
同窓会も模擬店ブースに参加して、
盛り上げに一役買っています。

今年度の「たつぷく祭」は平成三
十年十月六日(土)の開催でした。
同窓会は今年も「うどん」と「大学
芋」を販売。前日の下ごしらえや買
出し等の準備、当日の調理、販売
など、多くの方に協力いただき、
完売することができました。

★模擬店のお手伝いや「たつぷく祭」
に訪れた同窓生に、感想や近況を伺
いました。

○ 第一期生 松原宣子さん

8月のシニア介護ボランティア講
座で出会った方がたくさん来てくれ
た。地域の方、卒業生との輪を広げ
ていきたい。

○ 第十二期生 柘植博志さん

卒業後、就職した所から変わらな
ず、いつの間にか男性職員の最古参とな
りました。時が経つのを実感する。

○ 第十二期生 氏原さん

今日はうどん担当。7、8年ぶり
に来ました。学校は懐かしい感じ。



携帯電話 (または自宅パソコン) のアドレス登録のお願い

学校行事・同窓会行事等につきまして田原福祉専門学校メール配信システムでご案内いたしますので、
皆さまのメールアドレスを下記の方法で登録していただきますようお願いいたします。

卒業期別毎に登録できますので、同期会の開催通知を配信する場合など、ご連絡いただければ協力さ
せていただきます。皆さん登録のうえ、是非ご活用ください。

【田原福祉専門学校メール配信システム登録方法】

- ① 次のアドレスに空メールを送ります。(QRコードから読み取りができます)
・宛先: tahara.tchs@fofa.jp ・件名: (記述なし) ・本文: (記述なし)
- ② 登録案内メールが届きます。(案内に従って操作してください)
- ③ 完了メールが届きます。

※②の登録案内メールが届かない場合は、「fofa.jp」を受信許可ドメインに設定して下さい。



総会の開催は、たつぷく祭 と同日になります

今回の規約改正では、同窓会総会の開催時期の変更について審議、承認されました。

同窓会総会は規約の規定(第十条)により、毎年五月に開催されていきますが、より多くの会員の皆さんにご参加いただき、また会員同士の交流が図られるよい機会となるように「たつぷく祭」と同日開催に変更することが決まりました。また、総会では「事業計画及び収支予算」を審議し承認されますが、総会前に予算執行が必要となった場合は、会長及び庶務に一任いただき、事後承諾となることが認められました。

【2019年度同窓会総会】

- ☆開催日 2019年10月5日(土)
- ☆会場 田原福祉専門学校
- ☆時間等のお知らせ方法
学校ホームページや「メール配信システム」で詳しくご案内します。

○第十二期生 匿名さん

久々にたつぷくに来りました。まさか同級生がいるとは思わなかったのでびっくりしました。先生たちも元氣そうでホッとしました。

○第十二期生 Aさん

久しぶりに来たら、調理室の場所も忘れてました…。今日は楽しかったです！



第12期生の仲間たち

○第十二期生 Nさん

初めて手伝いに来ました！色々大変ですね！今まで来なかったの知りませんでした。でも超楽しかったです。

○第十三期生 杉浦さん

久々に来ました。仕事も私生活も

頑張っています。

○第十三期生 匿名さん

今日は久しぶりにたつぷくへ遊びに来ました。いろんな人に会えて楽しいですよ！

○第十四期生 中神さん

今年も手伝いに来ました。何とか元気にやっています。

○第十八期生 加藤さん

毎年手伝いに来ています。楽しくやっています。

○第十九期 匿名さん

今年もたつぷく祭へ来ました。久しぶりにいろんな人に会えてよかったです。また遊びに来ます。仕事、頑張ります。



石田先生と第21期生

○第十九期生 大園さん

仕事頑張っています。

○第二十期生 Oさん

今年もお手伝いに来ました。大学芋、美味しいですよ！

○第二十一期生 あずまさん

大学芋作ったよ！手伝い頑張った。また来るよ。

○第二十一期生 あいさん

久々楽しかったよ♡

○第二十一期生 くぼたさん

手伝い、楽しすぎるよ！

○第二十一期生 Y・K

やっぱり雨ですね。皆が楽しそうでした。

○第二十一期生 Kさん

たつぷく祭来たよ！夜勤明けの休みだったので、まさか来るとは思わなかった(笑) 篠手芸の先生にまた会いたい！

あいにくの雨天でしたが、同級生や先生との思わぬ再会に声も弾み、皆さん存分に楽しまれた様子でした。次の「たつぷく祭」では、学生時代を思い出して「模擬店」に参加してみませんか。お手伝いだけの方、大募集。ぜひ、お誘いあわせのうえ「たつぷく祭」で楽しみ、「総会」にご出席ください！

学校だより

● 介護職員スキルアップセミナー ●

平成三十一年二月十六日(土)に「ノリフトとシーティングの実際」をテーマにセミナーを開催しました。本校の土平俊子校長を講師に、アビリティーズ・ケアネット(株)のご協力をいただきました。参加者は十六事業所から経験年数一年〜二十一年の職員の方で、熱心に取り組みまれました。シーティング演習や器具の実演、配布資料等は職場研修にもご利用いただけるかと思えます。

今後も同窓生の皆さんが、学び、集える場の提供を行っていきたくと思いますのでご参加をお願いします。



実演の様子

● 各種講座 ●

平成三十年七月二十一日(土)に公開講座「シニアヨガ初心者講座」を行いました。また八月は、健康長寿と介護をテーマに、本校「オープンカレッジ」と東三河広域連合からの委託事業「シニア介護ボランティア講座」を開講しました。



オープンカレッジ開講式

● 各種研修 ●

本校では、介護職員初任者研修と介護福祉士実務者研修(通信課程)を実施しています。初任者研修については、東三河広域連合が、東三河在住の方を対象に費用負担の助成を行います。実務者研修は五月から開催し、県の費用貸付制度もあります。開催日程等詳しくは、学校ホームページでお知らせしています。

● 新任職員紹介 ●



事務長
彦坂 英美

昨年四月、再び「たつぶく」勤務となりました。新しい環境の中、不安でいっぱいでしたが、学生や卒業生、地域の方々と関わる中で、自分らしさを大切に過ごしてきました。

間もなく一年が過ぎようとしていますが、在校生や卒業生が頑張っている姿に、「私も頑張らないと!」と、力をもらえることも学校勤務ならこそ味わえることです。

「たつぶく」とともに過ごす日々が、心の支えとなれますように、そんな居心地の良い学校でありたいと、日々、少々の奮闘をしております。



専任教員
山田 紗由美

昨年四月の人事異動で、健康課の保健師から「たつぶく」の専任教員となりました。今までと違った環境で自分ができることは何かと、当初は戸惑うことも多かったように思います。しかし、授業や学校行事をと

おして学生の皆さんの直向でまっすぐな姿勢、相手を理解しようとする優しく懸命な表情に触れながら、今人はとの出会い、知識との出会いに自分自身が成長させていただいていることに感謝する日々です。学生の皆さんが自ら考え、介護を楽しめる専門職となれるよう、私も微力ながら「人と関わる仕事」を精一杯つとめていきたいと思えます。

● 転出・退任職員 ●

お世話になりました。

■ 平成三十年三月三十一日付

○ 事務長 森下 鍊

○ 専任教員(再任用) 長谷川 彰

○ 学生係主事 武田 貴嗣

○ 非常勤講師

(福祉レクリエーションスポーツ)

阿部 弘子

(生活支援技術Dほか)

山田 康代

(生活支援技術Bほか)

渡邊 恵里

(医療的ケア)

久米 清子

